

Ⅰ 大学改革の実施について

SJN21構想会議の検討結果を受け、経営強化・改善計画に看護学部（男子学生の受入れも可）及び人間学部の2学科体制への改組を盛り込んだ、修正経営強化・改善計画を策定し、改組に取り組んでいます。

この計画を基に、第二期中期計画（平成29年度～31年度）を実施しています。

Ⅱ 教育活動について

①カトリック校としてのアイデンティティの維持、浸透のため「建学の理念」の三科目の必修化、静修会、メデイテーション、ミサなどの行事を行いました。

②教育目標に沿った「七つの力」（課題発見力・論理的思考・他者尊重・コミュニケーション力・行動力・企画立案力・発信力）を学生が身につけることを重点に教養教育と専門性の教育を展開しています。

③人間学部を平成30年度から1学部2学科体制とするため、新学科（文化学科）設置を文科省に届出し、学生募集を行いました。2学科体制への移行に伴い、既存の心理コミュニケーション学科を3コースから2コース制への変更や各コース特徴の明確化にむけて、組織変更や教育課程変更を行いました。併せて、学部・学科の教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッシン・ポリシーの見直しを図りました。

〈短大〉

①カトリック校としてのアイデンティティの維持、浸透のため、静修会等の学校行事の内容の充実を図りました。

②幼児教育科：保育者養成教育の伝統を継承しつつ、人間性豊かで新しい時代にふさわしい保育者を養成するために、幼児教育、社会福祉、児童文化の3コースを設け、保育士資格、幼稚園教諭二種免許、児童厚生二級指導員及び自然

体験活動指導者などの資格取得に必要なカリキュラムを設置しています。入学前教育の重点化としての基礎学力、日本語力を確保する工夫（入学前講座、課題の充実）と通信添削講座の受講の促進、ピアノ技能の早期把握と対策の強化を引き続き検討し実施しました。

③国際コミュニケーション科：豊かな国際的視野とコミュニケーション能力を養成できるように学生の興味や進路に合わせて国際・ビジネスの2コースを設け、関連する資格・検定の取得も強力に支援するカリキュラムを設定しています。清泉版社会人基礎力である「清泉スピリット5つの力」の育成を主なねらいとする特別プログラムも継続しています。

④短期大学及び各科において、平成30年度からの教育方針、教育目標及び3ポリシーについては、点検、見直しを図りました。幼児教育科では、教職課程の再課程認定、保育士養成課程の改定に向けて検討を行いました。国際コミュニケーション科では、国際コースでの観光分野の充実、ビジネスコースでの金融分野の新設にむけた教育課程の変更に着手しました。

Ⅲ 国際交流について

特定の文化に対する知識の学習、異文化交流に欠かせない行動力、コミュニケーションスキル、語学力などを育成する海外研修プログラムを実施、多数の海外研修参加者がありました。また、セメスター留学生として、4名の派遣、5名の受入れを行いました。

Ⅳ 学生生活の支援について

学生の教育と学園生活が充実するよう、教職員が協力・連携して対応しました。学生生活アンケートや、学生からの希望や意見の中で、対応が可能なものから改善に努めました。

スクールバスとマイクロボスの運行を継続し、学生の登下校の利便と安全を図りました。また、オクレンジャー（学内メール連絡網システム）を積極的に活用して、学生の安全確認、各種の情報提供を実施しました。

経済的な支援を要する学生に対する奨学制度を充実させ、各種奨学制度を案内しました。

V キャリア支援

キャリア担当教職員間で学生情報の共有を図り連携した支援を行いました。ガイダンス等の見直し、インターンシップの推進、基礎学力の補強による就職試験の対応力の向上に努めました。

また、企業との情報交換の機会を多く持ち、関係構築と強化に努めました。キャリア系授業、業界職業研究セミナー、学内企業合同説明会等、企業側の協力を得て、学生の職業理解の場を多く設けることができました。

Ⅵ 教員の研究活動について

研究の質の向上と研究活動の全体的な活性化のため、個人研究費の助成、研究成果出版助成、共同研究推進・発表会、国際学術交流会などを行いました。共同研究においては、地域課題解決を目的とした長野県と協働の研究を進めています。研究成果については、『研究紀要』『Humanitas Catholica』『教育文化研究所 NEWS LETTER』等で公表しています。

Ⅶ 保護者、地域との連携について

①保護者等との連携：「泉会（保護者会）総会」及び「就職・進学支援のための保護者懇談会」の開催、「カレッジ通信」を通じて、本学の様子をお知らせしています。卒業生については、新卒者同期会の開催、愛泉会（OG会）と協働で「ニュース・レター」の発行を行いました。

②地域との連携：地域連携センターを中心に地域との連携を積極的に進めるとともに、学部・学科がそれぞれの教育内容の特徴を生かして「地域に貢献できる人材育成」を目標に活動しました。

・長野市、千曲市及び信濃町との連携協定の他、新たに産学連携としてながの農協組合と包括的な協定を締結し活動を始めました。

・長野県地域発元気づくり支援金事業に採択され、子ども・子育て支援を目的とした事業を積極的に推進しています。

・本学教員を講師に実益と社会貢献を兼ねた生涯学習講座を新設し、多くの受講希望がありました。

した。

・学生ボランティア派遣先へのアンケート調査を実施し、結果をフィードバックすることにより学生が活動の成果を実感できるよう改善しました。

Ⅷ 学生の募集・受け入れについて

①本学の取り巻く環境を分析し、大学案内・募集要項の制作、オープンキャンパス、保護者説明会、高校訪問、ガイダンス、大学見学会、出張講座、姉妹校連絡協議会、高校連絡会等の実施、地域連携センターとの連携、Web、SNS、テレビCM、ラジオCM、新聞広告等により本学の学びの特長を伝え募集活動を実施しました。

②出願者増に向け、次の取り組みを行いました。

- ・一部入試を除きWEB出願を導入
- ・経済的に修学が困難な高校生を対象に入学時に支給を決定する奨学金「ラファエラ・マリアスカラシップ（入学時経済支援型）」を導入

③「清泉百年プロジェクト」を展開しました。

・大学：新学科「文化学科」、新学部「看護学部」、既存学部学科の専門性特化の周知

・短大：専門性特化として幼児教育科、国際コミュニケーション科（国際コース〈観光分野〉）、ビジネスコース（金融分野）の周知

Ⅸ 施設設備の維持・充実について

施設の安全性の確保、アメニティ向上を基本に次の改修、設置等を行いました。

- ・ICT基盤更改及び情報処理室・CALL教室のPC等の更改、入退室管理システムの入替
- ・駐車場の新設（22台分）
- ・講義室の床のリノベーション

X 財政

中期財務計画に沿って、財務管理を行っています。収入面では補助金の獲得に努めました。支出面では、予算執行状況をタイムリーに把握できる体制の整備を行い、予算策定の高度化や経費削減を図りました。